



ぼんじゅ竹灯籠（たけどうろう）

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 手づくりの道具（灯籠）を作って使う楽しさを味わうことができます。
- 道具の安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作など
 中学校：美術、技術・家庭など

2 活動の概要

真竹と板材と和紙を使って、古くから伝わる灯籠（灯明具）を作る活動です。灯りには「ろうそく」を使用しますが、キャンドルサービスで使ったろうそくを使用することをおすすめします。



〈ろうそくの火を灯した時の様子〉

- (1) 人数 160人以内
- (2) 対象 小学校3年生～中学生・高校生
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 2時間（説明15分＋活動105分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2、キャンプセンター
- (6) 経費 120円／1作品
※ろうそくを購入する場合、別途10円かかります。
- (7) 指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



〈ろうそくの火を灯さない時の様子〉

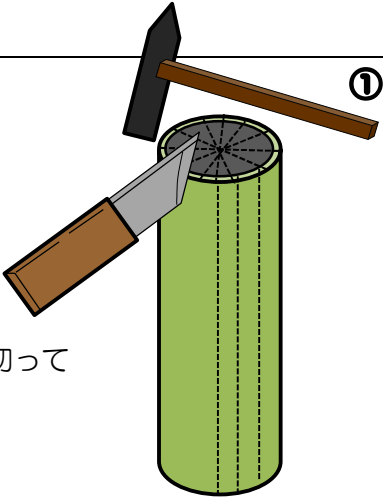
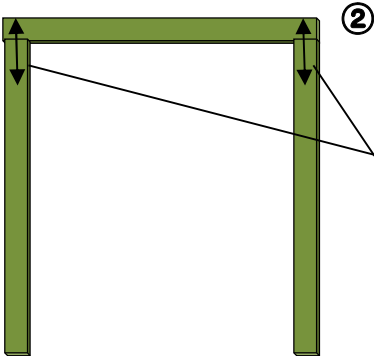
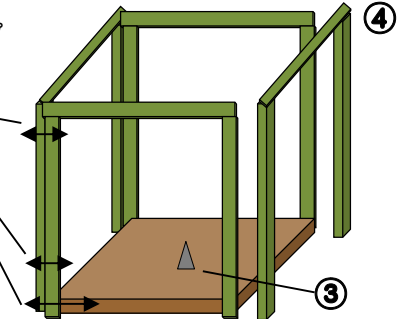
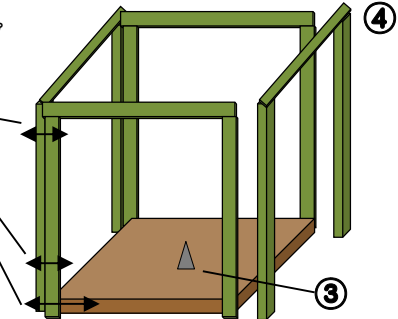
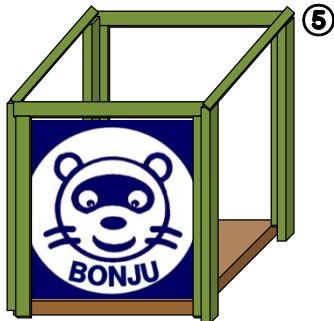
3 準備物

団体	救急薬品
個人	軍手
自然の家	材料：真竹、板材、和紙、木ネジ、ろうそく（キャンドルサービスで使用したものなど） 用具：かなづち、小刀、セロハンテープ、はさみ、ポスターカラー、油性ペン、色筆ペン、電動ドリル、作業板 その他：バケツ水 ※火を灯して鑑賞する際

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら、作り方について説明 用具の使い方と安全について説明
活 動	<p>① 竹を縦に「12分割」する</p> <ul style="list-style-type: none"> かなづちと小刀を使って割っていく。  <p>② 竹棒3本を使って「アーチ型」を4セット作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> セロハンテープで接着する。 竹棒は重ねないで上に乗せるように接着する。 裏面からも接着する。 ※セロハンテープのはみ出す部分は、はさみで切ってもよい。  <p>③ 板材の中央に木ネジを打ち込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動ドリルで大人が行う。  <p>④ 「アーチ型」4つを箱形に組み合わせ、セロハンテープでとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「アーチ型」同士を接着する時は、セロハンテープで巻き付けるようにしっかりとめる。 板材に接着する時は、縦、横方向にセロハンテープでしっかりととめる。  <p>⑤ 和紙に好きな絵や文字を描き、内側から木工用ボンドで張る。内側の木ネジにろうそくを立てて完成。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵や文字は、ポスターカラー、油性ペン、アクリル絵の具など、お好みに応じて使用する。 
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ

6 安全に実施するためのポイント

- けが防止のため、なるべく軍手をつけて作業する。
- 刃物（小刀）を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。
- 用具を散乱させておかないように注意する。
- 火を灯して鑑賞する際は、万が一に備えてバケツ水を用意する。